

## 研究会における論点メモ

### 前提と背景

#### ○地域社会を取り巻く環境の変化

- ・ 超高齢・人口減少社会の到来
- ・ ニーズの多様化、ダブルケアの問題
- ・ 急速な人口減少により公的支援の提供が困難
- ・ 都市部への移動、核家族化の進展、共働き世帯、集合住宅居住者の増加により、地域の役割を行政が代替

→コミュニティ持続可能な組織運営への課題、活動の停滞、地域における合意形成が困難になっている

#### ○多様なコミュニティの発達

- ・ 地縁型住民自治組織（自治会・町内会など）
- ・ 協議会型住民自治組織  
…小学校区・中学校区単位で、自治会・町内会など小さな単位の地縁型の住民自治組織や地区防災組織・地区社会福祉協議会・地区まちづくり協議会といった機能型住民自治組織を包括した地縁型の住民自治組織、中にはテーマ型コミュニティを包含することもある
- ・ テーマ型コミュニティ
- ・ 地区防災組織、地区社会福祉協議会、地区まちづくり協議会
- ・ 地域運営組織（地域コミュニティの運営を行う協議会型住民自治組織）
- ・ 地域自治区

→コミュニティの性格（「地域自治組織」と「地域運営組織」）を意識したうえで、地域社会における公共サービスの担い手、中間支援組織のあり方、コミュニティの法人化の意義、協働推進大学による地域公共人材の育成などを考える

#### ○コミュニティに求められる活動と負担の増大

- ・ 地域福祉分野            地域包括ケア、プライマリー医療、子どもの貧困対策（子ども食堂など）、コミュニティ・ソーシャルワーカー
- ・ まちづくり分野        まちづくりへの参加と合意形成
- ・ 地域教育分野            コミュニティ・スクール
- ・ 地域公共交通分野      デマンド型交通
- ・ 防災・危機管理分野    地区防災計画

→多くのコミュニティが、コミュニティ・リーダーやコミュニティ・マネージャーの人材確保・育成をはじめ、その組織運営に課題を抱えているにもかかわらず、分野別に数多くの活動を期待され、実態と活動にギャップが生じている。また、あらためて公・共・私の役割を整理することが求められる。

○人口減少・超高齢時代のコミュニティは、多くの課題を抱えながらも、以前にもまして多くの役割を期待されている。このような状況下において、いかにしてコミュニティを持続可能な公共サービスの主体の一つとして位置づけるかを検討することは、喫緊の課題となっている。本研究会では、特にその活動の担い手に注目し、その確保と育成方策について具体的な検討を行う。

## 論点1 求められるコミュニティ人材の姿と課題

(1) 地域社会における公・共・私の役割をふまえたコミュニティ人材の確保・育成

- ① コミュニティの運営やマネジメントのための人材
- ② 各分野で求められるコミュニティ人材
  - ・ 地域福祉分野
  - ・ まちづくり分野
  - ・ 地域教育分野
  - ・ 地域公共交通分野
  - ・ 防災・危機管理分野
  - ・ コミュニティ・ビジネス

(2) コミュニティ人材確保・育成の手法

- ・ コミュニティの内部における人材確保・育成
- ・ コミュニティの外部からの人材確保等
- ・ 民間事業者を含む外部の組織や団体との連携（外部人材の登用を含む）

## 論点2 期待される自治体行政の組織・職員・取組みのあり方

(1) コミュニティ人材の確保・育成と自治体行政の組織

…対応窓口の一元化（庁内縦割りの是正・部局間連携の強化）、広域連携の推進など

(2) コミュニティ人材の確保・育成と自治体職員

…コミュニティに対する地域を担当する職員の仕組みなど

(3) コミュニティ人材の確保・育成のための自治体の取組み

…社会教育・生涯学習の再検討、地域づくり大学等の創設、活動拠点の整備、情報の提供と共有、財政的な支援、多世代交流の促進など

## 論点3 人材確保・育成を含むコミュニティの財源確保

(1) 住民による直接負担のあり方

(2) 自治体による財政支援のあり方

(3) 自治体としての財源確保策のあり方